

はじめに

我々のまわりを見渡すといろいろ不思議な現象に出くわす。

「日本の土は黒いのに、アフリカの土はなぜ赤いのだろう？」

「東京の副都心では、なぜ新宿に高層ビルが集まっているのだろう？」

「なぜ大阪駅は階段やスロープが多いのだろう？」

「なぜ日本でもっとも雪が降るのは新潟県で、北海道ではないのだろう？」

「なぜ北海道と本州は、近くにあっても生息する動物がぜんぜん違うのだろうか？ しかも本

州より北海道のほうがツキノワグマに対するヒグマのように動物の体が大きいし……」

「日本アルプスには氷河が削ったすり鉢状の地形があるのに、なぜ富士山にはないのか？」

これらの疑問はそれぞれまったく関係がないように見えるが、疑問の糸をたぐり寄せていくと、それぞれ複雑につながっていることがわかる。

たとえば新宿に高層ビルが集まっていることと、日本アルプスにカールがあることと、北海道と本州の動物の違いは、すべて「氷河」のキーワードで解き明かすことができるのだ。

本書は、そのような疑問の糸をたぐり寄せながら、日本や世界の不思議な自然や社会を解き明かし、より深く理解していただこうと思いいを走らせた。

私は幸いなことに、世界50か国以上をおもに研究調査の目的で訪れた。そこで調査を進めると、ただの観光ではわからなかったことがいろいろ見えてきた。その新たに見えてきたことも書き綴った。そのため、本書にはそこかしこに私の体験や、そのときに撮影した写真がちりばめられている。私の経験をいっしょに実感してもらいながら、日本や世界の地理をよりよく理解してもらえればと思う。そして、本書を読んだあとに、屋外に、さらには世界に出て、みなさんの目で実際に見て、感動していただければ

本望である。

本書は多くの出版物を参照している。本来なら、その参照箇所を示して参考文献を挙げるのだが、一般向けの読み物であり、細かく参照箇所を示すと煩雑になり読みにくくなるため、最後にまとめて参考文献を掲げた。

掲載した図表には出典を示してあるが、作図し直しているため、原図から変更されている。

写真は撮影者名や出典を示している10枚を除き、すべて私が撮影したものである。ただし、写真119と1164は私が主宰する京都大学自然地理研究会のホームページから借用した（メンバーの撮影）。